

AEFA

フレンド会報



日本財団
The Nippon Foundation

助成事業

アジア教育友好協会 AEFA

Asian Education and Friendship Association

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西2-14-49

TEL 03 (3506) 7302 / FAX 03 (3506) 7301

Email : office@nippon-aeffa.org

第

4号

発行日:

2006年9月1日

AEFAを応援します！

新たな仕組みでアジアの学校建設に挑戦

日本財団 常務理事 大野 修一

日本財団は、これまで海外約 100 カ国で、800 件以上の、様々な分野にわたるプログラムを支援してきました。その中でも教育は、重要な分野のひとつです。大学及び大学院への奨学金事業は世界各地で 70 以上ありますし、基礎教育の面では、ペルーやカンボジア、ミャンマーなどで 200 校以上の小学校建設を支援してきました。

このような多くの経験を通じて、学校建設事業は単なる校舎の建設で終了するのではなく、むしろ、その後の運営が大切であり、そのためには、現地住民の参加が不可欠であると考えようになりました。

現在進行中のミャンマー・シャン州での 100 校の建設事業も、こうした考えに基づくもので、学校建設後に発生する施設の維持や、教員の増員、給料の確保などの問題を乗り越えるための様々な工夫が組み込まれたユニークな事業になっています。この事業は、専門家からも「多くの NGO や ODA による建設事業とは一味も二味も違い、地域のニーズに的確に答えるものである」との、高い評価を受けています（2004 年 9 月号の「国際開発ジャーナル」）。

アジア教育友好協会（AEFA）に実施していただいて

いる本事業も、この考え方の延長線上にあるものです。日本財団は、学校建設後に発生する困難な問題を少しでも乗り越えられるよう、日本の学校と現地の学校に姉妹校関係を結んでもらう、という新しい仕組みを考えました。谷川理事長を始めとする人々が、我々の趣旨に賛同して集まって下さり、これを実施する団体として AEFA が設立され、この事業が始まりました。

スタートして 2 年足らずですが、谷川理事長は、当初のコンセプトを飛躍的に発展させ、さまざまなアイデアを加えて、子ども同士の国際交流の要素を大きな柱とする、とてもユニークな事業に育て上げてくれました。2004 年からの 2 年間で、既に 20 以上の学校が建設されましたが、いずれも特色のある国際交流の仕掛けが含まれています。

この事業は、単なる学校建設事業ではないため、一挙に数を増やすことは出来ませんが、日本財団としては、今後も引き続き AEFA に対する資金援助を通じて、アジアの少数民族の恵まれない子供たちの学習環境を改善するとともに、日本の子供たちとの交流の輪が広がっていくよう、この素晴らしい事業を支援して行きたいと思っています。ボランティアで活動の支援をしてくださる学生、教師 O B、会社員 O B、主婦など AEFA のメンバーの方々並びに、フレンドシップ校として参画いただいた全国の学校関係者の皆様など、多くの人々の貢献に、心より感謝申し上げます。

AEFA 2005 年建設校 2006 年建設予定校



★2005 年学校建設校

1. タイ ソップワーク小学校
2. タイ サムソップ小学校
3. ラオス アワイ小学校
4. ラオス バチュン小学校
5. ベトナム タンタイン小学校
6. ベトナム ヴァンフォン小学校
7. ベトナム パカン小学校
8. ベトナム イェンホップ小学校
9. 中国雲南省 日中藤誼小学校

★2006 年学校建設予定校

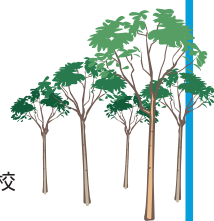
1. タイ ボカロン小学校
2. タイ ファイヤー小学校
3. ラオス イルン小学校
4. ラオス ノンドゥン小学校
5. ラオス ドンルアン小学校
6. ベトナム タインタン小学校
7. ベトナム スアックアン小学校
8. ベトナム アン・ルオン・ドン小学校分校
9. ベトナム ホンティエン小学校
10. ベトナム タムホア第 2 小学校
11. ベトナム フーカン B 小学校カウチャー分校
12. ベトナム トゥオン・ロック B 小学校
13. 中国 雲南省阿央谷小学校
14. 中国 雲南省共卓小学校

フレンドシップ校

1. 神奈川県 横浜雙葉高校 / 岡山県 津山市立鶴山小学校
2. 東京都 町田市立小山田小学校
3. 愛媛県 愛媛大学農学部附属農業高校
4. 静岡県 磐田市立豊田中学校 / 東京都 葛飾区南新堀児童館
5. 福井県 坂井市立平草小学校
6. 岩手県 紫波町立上平沢小学校
7. 岡山県 倉敷市立倉敷西小学校
8. 福井県 坂井市立平草小学校
9. 沖縄県 久米島町立仲里小学校

フレンドシップ校

1. 静岡県 静岡英和女学院高校
2. 静岡県 静岡英和女学院高校
3. 岡山県 津山市立鶴山小学校
4. 岡山県 倉敷市立玉島南小学校
5. 福井県 坂井市立長畝小学校
6. 神奈川県 藤野町立南小学校
7. 長野県 長野市立信田小学校
8. 奈良県 奈良市立済美小学校
9. 岡山県 津山市立鶴山小学校
10. 東京都 品川区立立会小学校
11. 岩手県 紫波町立星山小学校
12. 福井県 勝山市立村岡小学校
13. 福井県 勝山市立成器西小学校
14. 未定



フレンドシップ交流の紹介

- …2005 年度校
- …2006 年度校

●沖縄県久米島町立 仲里小学校



夏の久米島の風が薫る「手作り黒糖」と、どこまでも広がる青く美しい海や島の美しい大自然、笑顔いっぱいみなさんの様子を伝える写真が日中藤誼小学校へ届けられました。

手作りの黒糖と美しい写真

●東京都品川区立 立会小学校

読書活動が盛んな立会小学校からは、ブックフェスタに展示された、児童手作りの作品がタムホア第2小学校へ届けられました。ただベトナム語に翻訳するだけでなく、日本文化の紹介も含めた内容にしてゆきます。



●福井県坂井市立 長畝小学校

AEFA 活動史上初！児童たちが英語で作った、学校や町の様子をラオス・ドンルアン小学校のみなさんに紹介する資料が届きました。



児童たちの英語での作品

●福井県坂井市立 平章小学校

2月に引き続いて今回も、各家庭に呼びかけて集められた文房具とゆかたが贈られました。今夏、アイセックの一橋大学の森永さんにゆかたを託しました。森永さんは出発前に急きょ帯の締め方をマスターし、タンタイン小学校で副校長先生に着付けを教えてくださいました。



●東京都町田市立 小山田小学校

4月の「まちださくらまつり」で、生徒たち手作りの竹炭と竹酢液を販売した売上金を、フレンドシップ校のタイ・サムソップ小学校に寄付しました。



生徒たちの手から寄付を受取る AEFA 理事長

●岡山県津山市立 鶴山小学校

6年生の3クラスが、それぞれベトナム・タイ・ラオスの3カ国と交流を開始。各交流校にメッセージを送りました。東京外国語大学のボランティアのみなさんにより各国語に翻訳されました。



ボランティアさんの協力により翻訳された作品

●静岡県磐田市立 豊田中学校

ラオス・パチュドン小学校のフレンドシップ校である豊田中学校のみなさんが募金をして集めてくれたお金が寄付されました。



ラオスの学校には遊具が一切ないことから、サッカー、バレー、セパタクロのボールとネットを購入し、ラオスの5つのAEFA建設校に贈呈しました。

●愛媛県 愛媛大学農学部附属農業高校

AEFA フレンドシップソングと学校の校歌を歌ってくれたビデオ、アワイ小学校の友だちへのメッセージが届きました。



全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会（全海研）で活動発表 「フレンドシップ交流を通じての国際理解教育－自分たちの生活の再発見」

第33回全海研の全国大会が姫路で7月30日から8月1日に行われ、AEFAでは、「フレンドシップ交流を通じての国際理解教育－自分たちの生活の再発見」をテーマに、手紙、ビデオ、生徒さんの感想文で交流の様子を紹介しました。

今後、全海研の協力を仰ぎ、アドバイスを頂きながら、AEFA フォーラムを開催したり、教材開発も進めていく予定です。



▶ 小さな一歩を大きな一歩へ・・・

（全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会 会長 生野 康一）

小さな村に学校を建てる。村人たちと協力しながら建てる。こんな夢いっぱいプロジェクトは、今まで沢山聞いてきた。学校の開校と同時に日本の子どもたちとの交流も一定の期間行われる。子どもたちの学びの場が確保されたことで、子どもたちや保護者の喜びは大変なものである。しかし、いつの間にか「あのプロジェクトはどうなったの？」というような尻すぼみが続いている。子どもたちの笑い声で溢れていた校舎は荒れ果て、雑草の中に形を残している学校もあるかもしれない。

アジア教育友好協会の谷川理事長さんと話をしたとき、何かが違うと感じた。

熱い思いで語られる交流は、一方的な交流でなく学校を建てることからスタートした五分と五分の交流である。学校が建った喜びを、お互いが分かち合うために何をするべきかを考えながら交流をスタートする。人と人との繋がりの中で、何かを作り出していこうとする意欲を育てる。育った意欲は行動に繋がらなければならない。隣村に学校を作ろう。「作ってもらおう」から、「皆でいっしょに作ろう」に変わっていく人たちの前向きな姿勢を育てていく。前向きな姿勢は、自分たちの生活改善にも広がっていく。交流校である日本の学校も深く関わっていく。アジアと日本で子どもたちは大きく育っていく。夢のような話が少しずつ現実のものとなって私達に見えてくる。一人でも沢山の人の知って欲しいプロジェクトである。

私の所属する全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会（全海研）は、文科省の在外教育施設派遣制度で海外の日本人学校で教鞭をとった教師が中心になって作っている全国組織である。全国に13,000人の帰国教師がいる。海外へ出た教師は校長を

中心にして任地での学校づくりに努力する。日本から来た子どもたちが楽しく学校生活を送れるようにするために頑張る。異文化の中での日本の教育の推進、時には泣きたくするような苦しいこともあったはずである。子どもたちに向かっては、いつも笑顔を絶やさず頑張ってきた。3年間の任期で、それぞれが宝物を持って帰ってきている。13,000の宝物が、日本の各地で輝いているはずなのだが、ほんの少しの輝きしか見つけることが出来ない。派遣前に熱く燃えて任地へ旅立った教師は、何処へ行ってしまったのだろうか。全海研の仲間の先生方に、このプロジェクトを紹介する。派遣を目指して熱く燃えた時の思いと相通ずるものがこのプロジェクトにあると思うから…多忙を理由にしり込みする教師に、明日の日本の教育は任せられない。今、頑張らないでいつ頑張るのだろうか。

学校の交流から大人たちの交流に、そして地域の交流にと広がっていった欲しい。アジアと日本、お互いを訪問しあうのは、地域の長や役所の人間ではない、地域で頑張っている一般の人であって欲しい。そうすればお互いの生活に根ざした交流になり、同じ目線で話し合える。小さな交流から地域を拡大していく。拡大された地域との交流が進めば、国と国との交流に発展し、教育・文化をスタートに始まった交流が、それだけにとどまらず経済交流にも繋がっていくという展望を持ちたい。そしてこの活動は世界の平和に繋がっていくという夢を膨らませてくれる。小さな一歩がスタートした。この一歩を大きな一歩にかえるのは、スタッフの皆さんをはじめプロジェクトに参加している多くの皆さんの熱い思いにかかっている。お互い出来るところからスタートしましょう。

倉敷市

「倉敷市国際平和交流の推進に関する条例」の 施行で AEFA フレンドシップ交流プログラムを取入れ、 国際交流の取り組みスタート

倉敷市では今年4月から「倉敷市国際平和交流の推進に関する条例」が施行され、その活動の一つとして、AEFA フレンドシップ交流プログラムが取り入れられています。8月に倉敷西小学校・玉島南小学校がフレンドシップ校に決定しました。

AEFA では、8月1日に倉敷市・教育委員会および総合政策局を訪問し、「国際交流の総合的取り組み」を提案しました。学校だけのフレンドシップ交流にとどまらず、今後市内のフレンドシップ校同士の連携、倉敷市出身の学生をアジアの現地学校へ派遣、地域の人も交流に参加してもらうなど、倉敷市としての交流が期待されます。

紫波町

木の文化をベトナムに発信

岩手県紫波町では、「紫波の環境を百年後の子どもたちによりよい姿で残し、伝えよう」と、有機・無機・森林資源の循環や環境学習が積極的に行われています。

木造校舎の上平沢小学校と現在木造校舎を建築中の星山小学校がフレンドシップ校になっています。フレンドシップ交流も環境学習プランの中に位置づけられ、端材を利用して巣箱、額などの木工品を作り、ベトナムに紫波町の「木」を伝えることも予定されています。今後、町の循環政策課、教育委員会、NPO法人紫波みらい研究所、建築関係者の協力を得て、交流が進められます。

2006年度 新フレンドシップ校の紹介

「ラオス・ドンルアン小学校」

福井県坂井市立 長畝小学校

「農業・自然」をテーマにした交流

明治 5 年 (1872 年) 創立の、歴史ある学校です。大稲作地帯である福井平野にあり、校歌にも稲や大地が歌われています。



青木校長

「ラオス・ノンドン小学校」

岡山県倉敷市立 玉島南小学校

古くは万葉集にも歌われた美しい島々ときらめく海をのぞむ丘の上にある学校です。

保護者は学校に大変協力的で、子ども達は地域の人々の温かなまなざしに包まれています。

今後、6 年生が中心となって交流を始めます。



上 協定書にサインする難波校長

「ベトナム・パカン小学校」

岡山県倉敷市立 倉敷西小学校

創立 133 年の歴史を持つ西小。美観地区にもほど近い、倉敷市の中心部にあります。

国際交流クラブの子どもたちが、交流を始めます。



渡辺校長と担当の先生方



「ベトナム・ホンティエン小学校」

「タイ・ソップワック小学校」

「ラオス・イルン小学校」

岡山県津山市立 鶴山小学校

創立 26 年と比較的新しい学校ですが、地域の人々を初め、「交流・コミュニケーション」を大切にする教育を行っています。

6 年生の 3 クラスが、それぞれベトナム・タイ・ラオスの学校と交流します。



協定書にサインする神田校長

左 ソップワック 右 イルン 下 ホンティエン



「ベトナム・タインタン小学校」

神奈川県津久井郡藤野町立 南小学校

統合開校4年目の新しい学校です。自然豊かな環境の中、学校にも農園やビオトープがあります。5年生の13人が、顔の見える交流をしています。

担任の遠田清志先生が、夏休みを利用してタインタン小学校を訪問しました。



滝澤校長と担当の先生

▶忘れられないベトナムの子どもたちの笑顔

現在、私の学級はベトナム社会主義共和国タインホア州のタインタン小学校と交流を進めています。6月にタインタン小学校の子どもたちから手紙が届きました。そのお返しとして、写真と文章で南小学校の学校紹介を作りました。今回、学級の代表として、実際に私がタインタン小学校を訪問し、みんなで作った学校紹介を直接子どもたちにプレゼントしてきました。ベトナムの小学校も今は夏休みということなので、代表の子どもたちが私を出迎えてくれました。学校紹介をプレゼントすると、タインタン小学校の子どもたちはとても喜び、学校紹介の写真を見て楽しそうに友だちと話をしていました。そこには、日本の子どもたちと変わらないすてきな笑顔があり、私の学級の子どもたちの心とタインタン小学校の子どもたちの心がふれ合った瞬間でした。その様子を見て、私はとても嬉しくなりました。

私は、今後タインタン小学校との交流を進める中で、厳しい

藤野町立南小学校 遠田清志

教育環境の中でも勉強することを望み、一生懸命がんばっているベトナムの子どもたちの姿から多くのことを学ぶことができると考えています。さらに私は、国や学校事情など子どもたちを囲む環境は大きく違っていても、心と心が通い合う、そのような交流にしていきたいと考えています。

今回タインタン小学校を訪問するにあたり、アジア教育友好協会のみなさんや現地 NGO 団体の職員のみなさんのご協力があつたからこそ実現しました。心より感謝いたします。

また、ベトナムではたくさんの方の親切な心に接することができました。この貴重な体験を学級の子どもたちに伝えたいと思っています。

ありがとうございました。



「ベトナム・アン・ルオン・ドン小学校」

奈良県奈良市立 済美小学校

「歴史」をテーマにした交流



歴史の街・奈良市の中心部に位置し、開校は明治6年（1873年）と133年の伝統を誇ります。全児童が自分の植木鉢で朝顔や菊を育てる「一人一鉢運動」に取り組んで、継続して世話をすることや、思いやりの心を育んでいます。

山岡校長

「ベトナム・タムホア第2小学校」

東京都品川区立 立会小学校

「本」をテーマにした交流



開校80周年を迎え、ユニークなカリキュラムやボランティア清掃活動等、多彩な活動を行っている立会小。読書活動も盛んで、「ブックフェスタ」を開催。

朗読劇や読み聞かせなど、学年ごとに工夫を凝らしたワークショップとなりました。



星野校長

「ベトナム・フーカンB小学校」

岩手県紫波郡紫波町立 星山小学校

「木」をテーマにした交流

今年で創立130周年を迎えた歴史ある星山小。現在、地元の木材を用い、地元の匠によって木造校舎に改築中です。児童はもちろん、建設工事に関わる人たちも建築端材を用いて木工品を作ったり、木の葉書でおたよりをベトナムに送ったりする予定です。



小池校長

「ベトナム・トゥオンロックB小学校」

福井県勝山市立 村岡小学校

「ホテル」をテーマにした交流

環境に配慮した、「エコミュージアム」構想のまち作りを行っている勝山市。「子どもは地域の宝」という信念に基づき、地域の人々が子どもたちと川の浄化をしたりしてホテルの保護活動を行っています。

長谷川校長と
担当の先生方



特徴のある学校作り・テーマのあるフレンドシップ交流

ラオス・ベトナム

「絆の壁」（トゥオンロックB小学校）と
「木の学校」（フーカンB小学校）

▼トゥオンロックB小学校 〈ベトナム〉

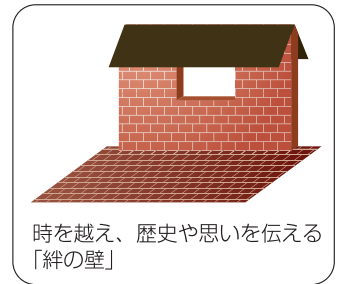
活気あふれるホーチミンから車で約3時間、ベトナム南部のヴィンロン省にあるトゥオンロックB小学校は、大水の被害に毎年のように遭い、校舎の壁はカビで脆くなっていました。現在建築中の新校舎は、レンガを積んで土砂を盛り、土台を高くしています。

旧校舎は当初解体予定でしたが、AEFA の提案で壁の一部と美しい赤レンガで造られた床が補強され、子供たちの遊び場として残されることになりました。

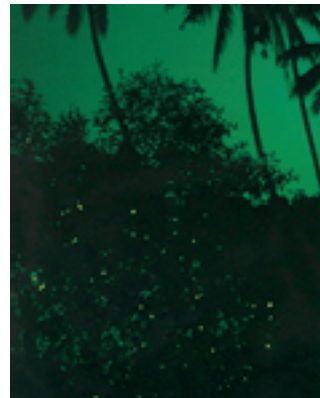
「学校の歴史」や「昔の風」を今に伝える『絆の壁』として生まれ変わり、新しい校舎と親たちも学んだ歴史ある校舎が並び立ちます。

また、トゥオンロック村にはホテルが多く生息しています。群れごとに高い木に集まって点滅する様子は、まるでホテルのクリスマスツリーです。

日本のフレンドシップ校もホテルの活動が盛んな福井県村岡小学校。村岡小学校からもホテルの絵が届けられ、「ホテル絵画コンクール」が開催される予定です。



時を越え、歴史や思いを伝える
「絆の壁」



村岡小学校からのホテルの絵

ホテルのクリスマスツリー

▼フーカンB小学校 〈ベトナム〉

同じくメコンデルタ・チャビン省にあるフーカンB小学校は、クメール族の人々が暮らす村にあります。

フーカンB小学校には、トレイダーズ証券株式会社様のご寄付により、校舎と合わせて「図書室兼集会所」が追加して建設されています。

AEFA 顧問でもある佐川旭建築士の提案により、ベトナム政府の画一基準で作られたコンクリートの学校



とは違い、家にいるようなほっとしたくつろぎを感じられるよう、木を内装に取り入れたり、棕櫚の葉の天井を張ったり、裸足で入れるように床はタイルにします。「大切なのは、お金をかけることなく、地域の人々や子ども達が、学校に愛着と誇りを持てるような工夫をすること。」（佐川旭建築士談）

木の持つ温もりとクメール族の伝統を取り入れた、「地域の人々と学校をつなぐ場」「思い出をつなぐ場」となるような、全く新しい学校づくりが行われています。

日本のフレンドシップ校岩手県星山小学校も、木造校舎への改装工事が進められています。

「物質的に作るものは違っても、“学校を作る”原点・気持ちは同じです。」

（星山小学校小池校長先生談）



現在建築中の星山小学校



図書室兼集会所完成予想図

▼山奥の子どもたちを日本文化紹介のコンサートに招待！〈ラオス〉

日本大使館・ラオス情報文化省主催 日本のロックバンド・ジブシーキーン
のコンサートが首都ビエンチャンで開催

AEFA では7月16日(日) ラオス・ビエンチャンで日本の文化紹介の一環として行われた、日本のロックバンド『ジブシーキーン』のコンサート(日本大使館・ラオス情報文化省主催)にサラワン県の山奥の子どもたち25人を招待しました。

昨年と今年の建設校から各学校5人ずつ、先生は1人ずつ招待しました。子どもたちは、ビエンチャンまで、サムオイの山奥の子どもでまる2日、パクセーの近くの子どものでも14時間ぐらいかかりました。

電気もない村から来た子どももあり、村の貧しさを考えると、一生のうちにビエンチャンに来ることなんて考えられない子どもたちです。ビエンチャンに2泊3日滞在し、映画館で生まれて初めて映画を見たり、物がたくさん並ぶ市場に行ったり、ラオス大学や動物園に行ったり、見るもの、経験することすべてが初めてという、夢のような3日間を過しました。

国立文化劇場で開催されたコンサートでは、ラオスの携帯電話の会社から寄付されたお揃いのオレンジのTシャツを着て参加。初めてのコンサートで期待半分、緊張半分の面持ちでしたが、コンサートが始まると曲に合わせてずっと手拍子をつけ、振り付けも舞台の上の人と合わせて楽しんでいました。

AEFA 理事長からも子どもたちに「夢を持ち、今日は夢を求める記念日にして欲しい」とのメッセージが送られました。



上 ラオスのノイ、アレクサンドラと共演のステージ
中 生まれて初めてのコンサートを体験
下 子どもたちの住んでいる山奥の村

▼ケナフの交流 〈ラオス・ベトナム〉

ケナフとはアオイ科の1年草で、葉は食用になり、茎と根から紙を作ることが出来る環境に優しい植物です。AEFAでは、NPO法人循環型地球環境保全機構と協力し、ケナフをテーマに国際交流を進めていく予定です。

8月25日 AEFA 谷川理事長が、ケナフの会の会員の皆様に講演を行いました。



第4回特別講演会
「植物資源の有効利用」

▼お掃除教室 パカン小学校 〈ベトナム〉

日本のフレンドシップ校の子ども達がトイレ掃除をしている写真やビデオを紹介しながら、現地 NGO・VNAHスタッフのホアンさんが「お掃除教室」を開きました。子ども達は真新しいほうきやブラシを手に、教室やトイレをぴかぴかにしました。

掃除を学ぶベトナムの子どもたち



学校建設資金へのご寄付

トレイダーズ証券株式会社様より、ベトナム南部チャビン省フーカンB小学校の「校舎」と、「図書室兼集会室」建設のためのご寄付をいただきました。

石原拓一郎氏より、ラオス南部サラワン省イルン村の学校建設のために、ご寄付をいただきました。



上 フーカンB小学校着工式
下 幸運を祈るパシーの儀式を受ける石原氏

(株)スターランドコミュニケーション

AEFA 活動紹介ビデオを製作

AEFAの活動紹介のビデオが今年1月に仕上がっています。

これは(株)スターランドコミュニケーションの風間社長のご好意で作られました。同社プロデューサー・カメラマンの樫さん、伊藤さんが日本の学校、アジアの学校に直接出かけ撮影、スタジオを1日借りて編集していただきました。



ジプシーキーン スクールギャザリング 子どもにフレンドシップソングをプレゼント

アジアで活躍するロックバンドのジプシーキーンはアジアの学校に校歌がないという話を聞き、「子どもたちが夢・希望を持ち、心の支えになる歌をプレゼントしたい」とフレンドシップソングを作ってくれました。この歌は日本、アジアのフレンドシップ校で広がっています。



新ロゴマーク発表！

「虹(希望)と子ども達の笑顔」をモチーフに、アジアと日本の子ども達の架け橋になれば…との想いをこめました。マークの半円の緑、ピンク、白はAEFAの活動の仕組み<学校建設、住民参加型の学校運営、国際交流>の3つを表現しています。この交流によって子ども達の教育意欲が増し、自立への努力が促され、明るい未来となるような、虹の架け橋のイメージです。これから可愛がってくださいね。



新フレンド会員のご紹介

新しく入会された皆さんです。有難うございました。(敬称略)

<個人会員> 現在会員累積数、法人会員5社 個人85名

吉川悠美子	富工 妙子	中野 昭子	野田 博
佐伯 純子	橋本 務	堀内 貴子	岡田 久司
山中 典隆	豊田 幹夫	落合 尚子	小牟田 洋
岡本 浩史	志和志津子	倉光 亨	高橋 勝海
中村 健一	能條由美子	打田 拓也	成島志帆子
中村 洋子	矢嶋 憂士	林 真紀子	久保田好紀
伊藤 絹子	種村 浩幸	森田 節子	木村 政道
保坂まゆみ	中崎 一枝	伊藤 挨子	三浦 三博

<法人会員> 株式会社 フルール・シャンタン

友の会 Topics

- 第1回 AEFAフォーラムを 10月28日(土)13時から日本財団ビル8階にて開催いたします。皆様のご意見を伺いながら新しい国際交流を展開する議論を深める場にしたいと考えております。
- AEFA会報3号がボランティアスタッフの協力を得て、英語・ラオス語・ベトナム語・タイ語4カ国語に翻訳されました。この会報でアジアの学校・各国NGOのスタッフ・現地の人々にもAEFAの活動を知ってもらっています。

私たちは AEFA を支援しています!

電話新設 ¥2,800

Bフレッツ ADSL 受付中!

全国のお申し込みを承ります。

お気軽にご相談ください。

gn.グローバルネットワークス

0120-989-723 携帯電話からも OK!



広告掲載
募集
しています。

アジア教育友好協会 AEFA Asian Education and Friendship Association

本 部:〒168-0071 東京都杉並区高井戸西2-14-49

連絡先:〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル8F

TEL 03(3506)7302 / FAX 03(3506)7301

Email: office@nippon-aeafa.org URL: http://www.nippon-aeafa.org ブログ: http://blog.canpan.info/aeafa/

日本財団
The Nippon Foundation
助成事業